

④見えづらくなつた部落差別



確かに、差別を受けた人、受けている人が立ち上がることもあるよ。

どうして、差別を受けている人は声を上げないの？



人の世に熱あれ
人間に光あれ

この言葉で結ばれる「水平社宣言」は、差別されていた人々が立ち上がって、団結して、自らの力で差別をなくそうと出したんだ。1922年のことだよ。

これによって、部落差別をなくす取組が広がったんだ。



そして、今も自分の体験を話して差別の不合理さを考えてもらうようにがんばっている人もたくさんいるよ。

でも、差別を受けている人が声を上げることはとても勇気がいることだよ。

差別がある社会の中で、自分が被差別部落出身であることをみんなに伝えることになる。声を上げること、さらに苦しむことになることもあるから、言いたくても言えない。差別の厳しさが、実際にある差別の現実を覆い隠しているんだ。



被差別部落出身であることを告白することになる

相手に避けられたり、差別を受けたりするかもしれない

家族が差別を受けるかもしれない

苦しさをわかってほしい

助けてほしい

つらい

これはきついな...

